

# 文化の窓

## 県立博物館企画展案内

### 「鉱物の世界」

会期 一月二十一日(土)  
 三月十九日(日)  
 会場 県立博物館

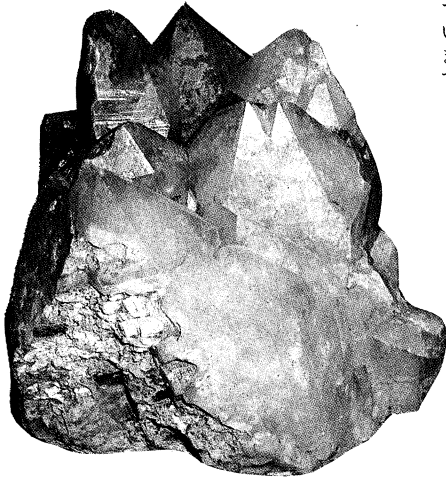
「鉱物」と聞いてすぐ思い浮かぶのは、透明で規則正しい形をした水晶、美しい寶石の代表格であるダイヤモンド、黄色い金属光沢をもつ角ばった黄鉄鉱などでしょう。鉱物は自然がつくる美の最たるものですが、その第一の理由は、鉱物のほとんどが規則正しい形をもった「結晶」であるためです。

自然界には、実に二千種類以上の鉱物があります。そのうちおよそ三百種類の鉱物が、地球の表層の岩石や土の中に存在しています。

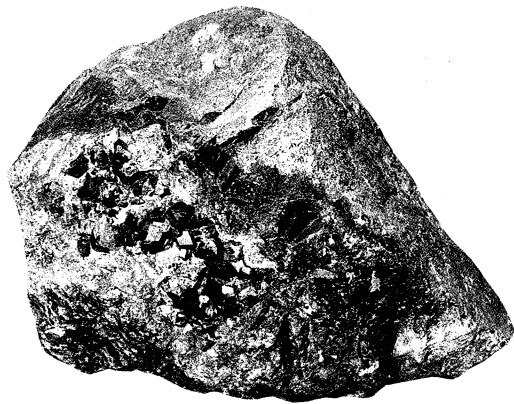
この企画展では、自然界にある様々な鉱物を紹介するとともに、特に東北地方に特徴的に産する鉱物がどのようにしてつくられたかを明らかにします。

展示は次の七つのテーマから成り立っています。

▼水晶（石川町中野）



▼スカルン鉱床中のザクロ石（霊山町・伊達永井鉱山）



一、「鉱物とは—その表情と性質」  
 鉱物のもつ一般的性質や結晶の構造について示す導入部分です。

#### 記念講演

#### 「宝石は語る—地下からの手紙」

講師 (前) 東北大学理学部教授  
 砂川 一郎氏  
 日時 昭和64年1月29日(日)  
 午後1時30分より  
 場所 県立博物館 講堂

二、「いろいろな鉱物」

自然界に存在する様々の種類の鉱物を分類して展示します。

三、「東北地方の鉱床」

特定の鉱物の濃集帯である鉱床について、特に東北地方の金属鉱床にはどんな鉱物があり、それはどのような場どのようにしてできたかについて示します。

四、「阿武隈のペグマタイト鉱物」

阿武隈山地に分布する花崗岩に伴うペグマタイト鉱物は、その質・量ともにわが国で第一級のものです。ここではその代表的なものを展示し、そのなりたちについて示します。

五、「宝石」

美しい鉱物の代表的なものである宝石を、その原石も含めて展示します。

六、「岩石をつくる鉱物」

ほとんどすべての岩石は鉱物の集合体であるという観点から、岩石のできかたについて考えます。

七、「鉱物の素顔」

実際に鉱物に触れたり、硬さを比べたり、顕微鏡で鉱物を観察したりできる体験コーナーです。

この他、めったに見られない珍しい鉱物や大きくて美しい鉱物を展示します。ぜひご覧ください。

胆バンク自然硫酸銅 ▶  
 (岩手県・土畑鉱山)

